



# 文化財保護センターだより

## 財団法人 岐阜県文化財保護センター

<http://www.smile.pref.gifu.jp/maibun>

三田洞本部・整理所

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1  
Tel.058-237-8550(代) Fax.058-237-8551  
e-mail.maibun@smile.pref.gifu.jp

飛騨出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張字峠1425-1  
Tel.0577-72-4784 Fax.0577-72-4690  
e-mail.hida@smile.pref.gifu.jp

平成12年  
7月1日

第28号

### もくじ

表紙	鎌倉時代の木簡発見……………	1	調査	上ヶ平遺跡・野笹遺跡発掘調査……………	6
巻頭言	10周年を契機にさらなる発展を……………	2	センターだより	お知らせ・センター日誌・あとがき……………	7
組織	平成12年度組織・事業計画……………	3	センターニュース	ホームページ開設……………	8
トピックス	柿田遺跡発掘調査に注目!!……………	4・5			

# 記された歴史が今によみがえる

## ～鎌倉時代の木簡発見～



レンゲ咲く5月の柿田遺跡と木簡

木簡とは、木片に墨で文字などを書き、記録などに使用したものです。柿田遺跡では、13世紀前半に埋まった溝から5点出土しました。この溝は鎌倉時代の館跡に伴うものと考えられ、東西約70m・南北約50mにわたって掘られていました。

写真左の木簡は、「三斗」と数量が書かれ、物品に付けられた付札(荷札)木簡と考えられます。写真右の木簡は、仏教の力によって国を守るという願いをこめて行った行事の一つである「仁王会」という文字がみられる貴重なものです。

これらの木簡の出土とそこに記された文字から、この地域の歴史を読みとることができます。



# 10周年を契機に さらなる発展を

(財)岐阜県文化財保護センター  
理事長  
服部 卓郎



本年度4月より当文化財保護センターに勤務することになりました。事務事業の推進に鋭意努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。ここ岐阜市の北部、三田洞の地は昭和40年前後の宅地造成により、にわかに住宅地化した緑に恵まれた閑静なところです。

センターは平成3年4月に穂積町で産声をあげて以来、本年度で10年目を迎えましたが、変貌を遂げながらの10年でした。「日本一住みよいふるさと岐阜づくり」をめざし、その一環として埋蔵文化財の調査・保存、ならびに保護思想の普及・啓発の拠点として「財団法人岐阜県文化財保護センター」が設立されたのであります。

また、岐阜県は日本の中心に位置し、東西文化の影響を受けつつ独自の文化を創造しており、遺跡の発掘調査への期待も特に大きいものがあります。

梶原知事の題字による当センターの広報誌「きずな」は、「センターと皆さん」・「過去と未来」・「東と西の文化」・「地域の人と人」とをそれぞれつなぐ絆となることを祈念して名付けられたものでもあります。

発足当時16人であった職員も、事業の増加等に伴って現在では50人体制にまで拡充・強化されて

います。

発足後の3年間に、発掘作業を自ら一日体験し古代の主な遺物に直接ふれていただくといった「タイムスリップ探検隊」、「発掘調査報告会」及び「発掘調査基礎講座」等の事業が開始され、さらには飛騨出張所も開所されて、当センターの基盤は確立されました。

平成6年度以降本部は岐阜市に移転し、その後は発掘調査により出土した遺物の「速報展」も毎年行われるようになりました。事業は一応の形が整って、内容を一層工夫するなどセンターの充実が図られております。

さて、本年度の事業は、美濃地方では可見市など5市町村で、飛騨地方では下呂町など3市町村で発掘調査が行われます。なお、昨年度までの発掘は整理作業に入っており、やがて報告書の刊行で調査は終了となります。その結果多くの遺物を収蔵・保管することとなりますが、先人の残した埋蔵文化財は、私たち共通の貴重な財産であるとともに、地域の歴史や文化をひもとく貴重なものであり、積極的な保存活用を考えていかなければなりません。

当センターの事業については先述しましたが、そのなかで例年開催の発掘速報展を拡充し、10周年記念特別企画「いにしへの美濃と飛騨」として行います。10年間の成果を十分盛り込んだものとすべく、準備中です。岐阜県博物館において12月の開幕ですのぞきとぞご期待のうえ、ぜひご覧ください。

また今年度から「地方分権一括法」の施行に伴う文化財保護法令の改正が行われ、都道府県・指定都市等への委譲事務が明示されました。これまで以上に大きな責任を負うことになり、発掘調査事業に取り組む体制をますます充実・強化していく必要性を痛感いたしております。

今後とも埋蔵文化財に関する情報の発信と県民理解を促進し、郷土の発展に寄与するよう職員一同全力で臨みますので、当センターの諸事業に格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成12年度の組織 (平成12年6月現在)

### 役員

会 長	梶原 拓 (岐阜県知事)
副 会 長	大野 慎一 (岐阜県副知事)
理 事 長	服部 卓郎
専務理事	原 隆男
常務理事	二山 晃 (岐阜県教育委員会事務局参事)
理 事	浅野 勇 (岐阜県市長会会長)
理 事	熊澤 昌之 (岐阜県町村会会長)
理 事	安藤 征治 (岐阜県都市教育長会会長)
理 事	平野 敬 (岐阜県町村教育長会会長)
理 事	八賀 晋 (岐阜県文化財保護審議会委員)
理 事	林 正勝 (岐阜県基盤整備部参事)
理 事	薫田大二郎 (岐阜県地域県民部事業経営局長)
理 事	日比 治男 (岐阜県教育長)
監 事	棚瀬 文春 (岐阜県地域県民部参与)
監 事	黒田 孝史 (岐阜県副出納長)

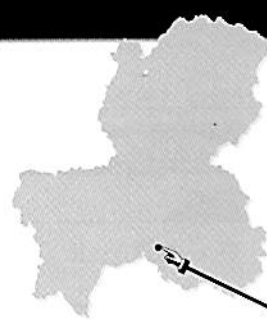
### 職員

理事長	服部 卓郎
専務理事兼事務局長	原 隆男
常務理事兼経営部長	二山 晃
経営次長兼経営課長	坂東 隆
経営部	主 査 青木 陽輔・板津 由子
	主 任 上口健太郎
	事務補助 山下真奈美・西口 恭子
調査部	部 長 高橋 幸仁
	次 長 武藤 貞昭
第1課	課 長 柘植 卓伸
	課長補佐 坂東 隆・堀田 一浩・村瀬 泰啓
	学芸主事 浅野 哲男・春日井 恒・三輪 晃三
	三島 誠
第2課	課 長 片桐 隆彦
	課長補佐 堀 真・鈴木 隆雄・富田 雅之
	藤岡比呂志・笹木 幸司・高木 徳彦
	野村 元次・成瀬 正勝・林 芳樹
	河瀬 実浩
	学芸主事 澤村雄一郎・小野木 学・長谷川幸志
第3課	課 長 飯沼 暢康
	課長補佐 岡田 吉孝・堀 正人・早野 壽人
	松岡 千年
	学芸主事 藤田 英博・小淵 忠司・近藤 大典
	安田 正枝
	事務補助 木野村明美
飛騨出張所	所 長 伊藤 秀雄
	課長補佐 上原 真昭・上出 巳吉・八賀 哲夫
	谷口 陽一
	主 任 斎藤 由宏
	事務補助 政井 美子

## 平成12年度の事業計画

事業名	事業者名	調査地	遺跡名	時代等
東海環状自動車道(関~美濃加茂)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	建設省岐阜国道工事事務所	富加町	後平茶臼古墳他	弥生~古墳時代の集落跡、古墳
		美濃加茂市	○富田清友遺跡 佐口遺跡 針田遺跡他	古墳時代・中世の集落跡 古代~中世の集落跡 古代~中世の集落跡
		その他	試掘確認調査	
関ヶ原バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査		関ヶ原町	○中山道	近世の道路状遺構
東海環状自動車道(八百津~笠原)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	建設省多治見工事事務所	可児市・御嵩町	○柿田遺跡	弥生~中世の集落跡、旧河道・溝跡
		御嵩町	○金ヶ崎古墳群他	条里型水田 古墳、横穴墓
中部縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	建設省高山国道工事事務所	高山市	○与島B地点遺跡他	試掘確認調査
徳山ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	水資源開発公団徳山ダム建設所	藤橋村	○尾元遺跡	縄文時代の遺物散布地
			○徳山陣屋跡 戸入村平遺跡他 寺屋敷遺跡他	中世・近世の城館跡 縄文時代の集落跡 旧石器・縄文時代の遺構他
関テクノハイランド開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	岐阜県土地開発公社	関市	南青柳遺跡他 大平前遺跡 深橋前遺跡 砂行遺跡他	弥生~古墳時代の集落跡、古墳 古代の祭祀遺構 弥生~古墳時代の集落跡 弥生~古墳時代の集落跡、古墳
		下呂町	○上ヶ平遺跡	縄文時代・古代の集落跡
一般国道248号道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査	岐阜県基盤整備部可茂建設事務所	美濃加茂市	○野笹遺跡	縄文~中世の集落跡
主要地方道神岡河合線道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査	岐阜県基盤整備部古川建設事務所	古川町	○太江遺跡 ○寿楽寺廃寺跡	古代の集落跡 古代寺院跡

\* ○は発掘現地調査



## 柿田遺跡発掘調査に注目!!

～貴重な発見がゾクゾクでています～

東海環状自動車道建設工事（建設省）に伴い、可児市柿田及び可児郡御嵩町顔戸地区において平成9・10年度に試掘確認調査を実施し、平成11年度より本発掘調査を行っています。

柿田遺跡は、可児川沿いに東西に細長く形成された平坦地に広がる田園地帯に位置しています。周辺には古墳時代から古代にかけての遺跡が数多く分布しています。可児市の「広見」「羽崎」、御嵩町の「伏見」「中」などに古墳がみられ、「柿田」では古代に「条里」と呼ばれる碁盤の目状に区画された水田が存在したといわれています。「六ノ坪」「杉坪」といった「条里」に由来する地名が現在も多く残っているのは、この名残だといえます。

さらに、美濃の平野部の東端にあたるこの地域は、古代の交通路である古東山道のルート上にあたるともいわれ、東国への交通の要衝であったと考えられています。



柿田遺跡全景



一縦横にはしる大小の溝や杭の  
集まり・竪穴住居跡などが見つかるー

これで、  
本発掘調査  
決定!



試掘確認調査の様子（トレンチの壁を削っています。）

平成9・10年度に試掘確認調査を行いました。調査は溝（トレンチ）を何本も掘る方法で実施しました。（写真左）

この試掘確認調査は、遺跡の広がりやいつの時代のものかなど発掘調査をするための資料を得るために必要なものです。

この試掘確認調査の結果、弥生・古墳時代～中世（鎌倉時代）にいたる多くの遺構や遺物がみつきり本発掘調査が必要であることがわかりました。

# 本発掘 調査

## —水田の下に眠っていた歴史が目覚め、姿をあらわした—

試掘確認調査の結果をうけて、平成11年度に本発掘調査を開始しました。調査は、ナゴヤドームと同じぐらいの広さ(約4万㎡)を実施しました。調査が進むにつれ、たくさんの土器片や農具・建築材などの木製品をはじめとする、昔の人々の生活の跡があらわれてきました。発掘されるものの一つ一つに先人の知恵が偲ばれ、感動の連続でした。



発掘調査の様子  
(大勢の人でていねいに土を削っていきます。)

こんな

発見がありました。  
●発掘はおもしろい!出てきたものすべてが本物!当時の人々の生活が目の前にひろがります。

### ① 中世のもの ▶『条里』と呼ばれる碁盤の目状に区画された

古代の地割りが中世の水田跡で確認されました。また、鎌倉時代の館跡と思われる敷地を囲む溝(幅約1~1.5m)から出土した木簡は、京都の石清水八幡宮護国寺の荘園であった明地庄との関係が考えられます。

※明地庄…明知または明智とも書く。荘園の範囲は、現在の地名で御嵩町「顔戸」・「古屋敷」、可見市「測之上」・「柿田」・「平貝戸」・「石森」・「瀬田」・「石井」を含む一帯にあったと考えられています。

② 古代のもの ▶古代の道路や溝がみられました。溝の中からは、人や馬の形を模した木製の祭祀具が出土しました。「まつり」に使った後、溝に流したものと思われる。

③ 弥生時代~古墳時代のもの ▶遺跡の全体から、弥生時代~古墳時代の古い川の跡や溝がみつかりました。なかでも堤の基礎や岸を守るための木組みが約22mにわたって築かれている様子は圧巻でした。これは、二つに分かれた川の流れを意図的に変えるための「土木工事跡」であると考えられます。また、竪穴住居跡が41軒みつき、住居跡からは石庖丁やヒスイ製の小型の勾玉などが出土しました。



堤の基礎の木組み



竪穴住居跡

●今年度の本発掘調査の成果も大いに期待されます。

## 発掘調査 状況

# 今年度の発掘調査始まる



当センターでは本年度、地元関係諸機関や多数の方々のご協力をいただき、県内8市町村11遺跡で発掘調査を実施しています。このうち今回は、2遺跡の概要についてお知らせします。

### 上ヶ平遺跡 (益田郡下呂町森)

温泉で名高い下呂の街を見下ろす高台に上ヶ平遺跡があります。遺跡の南西には、峰一合遺跡、東には「下呂石」の産出地として有名な湯ヶ峰があります。発掘調査は平成9～10年度にも行われ今回はそれに続く調査です。

#### ■下呂石ってなに？

湯ヶ峰の火山活動によって形成された火山性の岩石で、割ると刃物のように鋭い破片になることから、石器の材料として旧石器時代から弥生時代ころまで利用されたものです。下呂町の湯ヶ峰にだけ産出し、北陸地方や長野県・愛知県にまで運ばれていたことが確認されています。

この下呂石の破片が遺跡全体から出土しており、原産地に近い遺跡の特徴を示しています。また、破片が多く石器製品が少ないことも大きな特徴です。原料の下呂石を簡単に加工して遠くへ運ぶための基地であったとも考えられます。

この下呂石がいつの時代に加工されたものなのかは今のところはっきりしておらず今後の調査に期待されます。

#### ■古墳時代から平安時代にかけての人々の営み

前回の調査では、6～10世紀にかけての須恵器・土師器などの遺物と共に住居跡などの生活の跡が発見されています。古墳時代から平安時代にこの上ヶ平で生活した人々がいたことを物語っています。

今年度の調査でもこの時代の遺物や住居の跡が確認されつつあります。前回の調査で見つかった集落の広がり確認できるかもしれません。

「上ヶ平全景」



### 野笹遺跡 (美濃加茂市御門町)

木曾川がつくった河岸段丘の上に野笹遺跡があります。発掘調査は平成11年7月から平成12年3月まで行われ今回はそれに続く調査です。 「野笹遺跡全景」



#### ■古墳(円墳)を発見！赤池4号墳と命名

この4号墳は直径約10mで、周りに溝がありました。横から入ることができる「横穴式石室」という、石で囲われた部屋がありました。中には遺体の位置を示す石囲いと、お供え用と思われる土器がありました。

古墳は本来石室を土でおおうのですが、この古墳は上の部分はなくなっていました。上半分がなくなった時にそのまま埋まったようです。

石室の中は荒らされておらず、良好な状態で発見されました。中から見つかった土器や石室の形などから7世紀後半(今から約1,300年前)に造られたと考えられます。

ここに葬られた人は、当時この地でどんな活躍をしたのでしょうか。今回の発見はこの地域の古墳のあり方を考える上で貴重な資料となるでしょう。

#### ■5軒の住居跡確認

住居跡は、全部正方形に近い形をしています。

そのうち1軒は、今から約2,100～1,800年前の弥生時代のものでした。「下呂石」を割った破片が土器と一緒にたくさん見つかりました。

他の4軒は古墳時代のもので、主に生活していたのは6～7世紀(今から約1,400～1,300年前)ごろだと思われます。4軒とも住居跡内部に「カマド」という調理施設がありました。どの住居跡からも多くの土器や石器が発見されました。

今年度は少し離れた北西部を調査します。調査が進む中で、遺跡の性格や当時の人々の生活の様子がだいに明らかになってくるでしょう。

タイムスリップ探検隊員募集案内

～親子で発掘体験をしてみませんか！～

- 【日時】 平成12年8月1日(火) / 小雨決行  
午前9時～午後4時
- 【場所】 岐阜県可児市柿田 柿田遺跡
- 【対象】 岐阜県内の小学5・6年生と保護者
- 【定員】 50名
- 【締切】 7月13日(木)
- 【申込】 はがき又はFAXに住所、氏名、年齢、  
学年、性別、学校名、電話番号を明記し  
て次の所へ申し込んでください。



【宛先】 〒502-0003  
岐阜市三田洞東1-26-1  
(財)岐阜県文化財  
保護センター  
TEL 058-237-8553  
FAX 058-237-8551

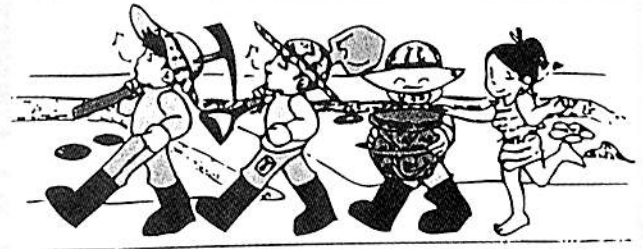
←昨年の探検隊の様子

岐阜県新発見考古速報 2000

～発掘報告会開催迫る！～

- 【日時】 平成12年7月8日(土)  
午後1時～午後5時
- 【場所】 大垣市スイトピアセンター
- 【報告】 「大桑城跡・大桑城下町遺跡」  
高富町教育委員会 山田哲也氏  
「後平茶臼古墳他」  
(財)岐阜県文化財保護センター 藤田英博氏  
「昼飯大塚古墳」  
大垣市教育委員会 中井正幸氏

【講演】 「戦国の山城」  
国立歴史民俗博物館 千田嘉博氏



センター一日誌

- 3月 7 美濃加茂市文化財審議委員会、野笹遺跡見学  
16 鶯谷中・高校地歴サークル、野笹遺跡見学  
20 飛騨考古学会、飛騨出張所見学  
21 記者発表(柿田遺跡出土木簡)  
22 理事会(ふれあい会館)  
24 整理所仕事納め  
31 村木理事長他8名退任
- 4月 1 服部理事長他1名着任
- 5月 1 整理所仕事始め  
11 飛騨地区発掘現場作業開始  
15 関市立富野小家庭教育学級へ講師派遣  
16 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター  
研究調査部長金子裕之氏、柿田遺跡にて木製祭祀具について指導
- 6月 2 理事会(全建総連厚生会館)  
4 「弥生土器を語る会」  
(代表: 明治大学教授石川日出志氏)  
センター所蔵資料見学 35名  
5 三重大学名誉教授八賀晋氏、太江遺跡他指導(～6)

あしがき

発掘調査の作業は、「夏は炎天下にて、冬は寒風に吹かれて」行われますが、まもなく夏本番を迎えます。関係者一同流れる汗をぬぐいながら、埋蔵文化財の記録保存をめざして真剣に発掘作業にとりくんでおります。貴重な遺物を取りあげた一瞬などは、まさに一服の涼風にも似たものを感じます。

さて、本年度は当センター設立10年目という節目の年でもあり、これまでを振り返り今後に新たな展望を持つ機会にしたいと思っております。例年の速報展も趣を変え、「特別企画」として予定をしています。このような折、『きずな』も幾分装いを新たにしました。これらを見ていただく多くの方に、埋蔵文化財に対する関心を持っていただけることを願っています。

今回紹介しました「報告会」・「タイムスリップ」などの行事にどしどし参加を、また開設された「ホームページ」には熱いまなざしをよろしく願います。

## (財)岐阜県文化財保護センターのホームページ開設のお知らせ

★今年度よりセンターのホームページを開設致しました。センターの仕事をご理解いただき、ますます埋蔵文化財に対する興味を深めていただけることを願っております。

ご感想・ご意見・ご質問などございましたら、下記までメールにてお問い合わせ下さい。

<URL> <http://www.smile.pref.gifu.jp/maibun>  
<e-mail> 三田洞本部 [maibun@smile.pref.gifu.jp](mailto:maibun@smile.pref.gifu.jp)  
飛騨出張所 [hida@smile.pref.gifu.jp](mailto:hida@smile.pref.gifu.jp)



### 整理作業

1 水洗い  
出土した遺物についている泥や土をワンプロシヤンなどで洗い落とします。洗いすぎると土が剥がれ、洗剤の残りが付いてしまいます。

2 注記・登録  
遺物の出土地点、数量などを正確に記述し、文字で記入します。ジップロックに入れて保管します。

遺跡の調査・報告は、どのように行われるのでしょうか。調査区の確認・準備から発掘調査の仕方、その後の遺物の整理・公開と具体的に知ることができます。

### (財)岐阜県文化財保護センターのホームページへようこそ

センター最新ニュース  
2000.7.8  
●岐阜県新発見考古学館(旧2000) 大垣市スライプセンター1号館2Fにて開催。(詳細はこちら)

発掘現場で見つけた貴重な遺物や展示会案内等の最新版を見ることができます。

財団法人 岐阜県文化財保護センター  
〒502-0003 岐阜市三田洞東1-26-1  
TEL(058)237-8550 FAX(058)237-8551  
E-mail: maibun@smile.pref.gifu.jp

飛騨出張所  
〒509-4122 吉城郡国府町名張字1425-1  
TEL(0577)72-4784 FAX(0577)72-390  
E-mail: hida@smile.pref.gifu.jp

### 遺跡紹介

所在地別  
時代別

縄文	1
弥生	1
古墳	1
中世	1
近世	1

今年度発掘している現場の最新情報を遺物・遺構の写真とともに見ることができます。

### 美濃の火炎土器

美濃の土器は戸入子遺跡(岐阜県稲佐村)の美濃土器群から出土した縄文時代中期後葉(約4000年前)の土器です。

口縁部には外側に張り出した立体的な突起(「美濃の土器」)が特徴です。その突起の形状は、土器の厚さや、その突起の形状によって異なります。突起の形状は、口縁部の内側に張り出した突起が特徴です。突起の形状は、口縁部の内側に張り出した突起が特徴です。

センターが調査した遺跡から出土した遺物は大変貴重なものが多くあります。ここでは、遺物の写真に具体的な解説を加え、遺物キャラクターとしています。今後さらに増やしていく予定です。

### 最新発掘調査ファイル

後平茶臼古墳 (あひらちゅうこふん)  
平成11年11月現在

所在地  
加茂郡富加町 (かものともみかちょう)

発掘状況  
黒土の層(関ヶ原山)を北上し、富加町をめぐると、後平茶臼古墳はあります。昨年度の発掘調査で土器片(はにわへん)が出土し、本調査への期待が高まりました。

調査を開始してまもなく、予想通り土器片が数多く出土しました。円筒埴輪と呼ばれるものです。下の写真は、周溝の中へ転落した状態で出土した土器片の写しです。

### 上平遺跡 (うへひらいせき)

下石  
一水遺跡の南

所在地  
吉田郡下石町吉  
はしらのちみちのちみち

時代  
縄文 弥生 古墳 中世 近世

発掘状況  
下石遺跡の北側に広がる緑地に立地。縄文時代中期の竪穴式住居跡と弥生時代から平安時代にかけての竪穴式住居跡を調査しました。遺跡の敷250mには、下石石の遺跡として知られた、縄文時代から平安時代にかけての住居跡が確認されました。縄文時代中期の竪穴式住居跡が、弥生時代から平安時代にかけての住居跡が確認されました。

### 自然と共生する縄文時代の暮らし

自然と共生していた人々の暮らしの様子を知ることができました。

遺跡の発掘により現れた遺物や遺構は、建物・田畑などのある当時の風景、人々の生活の様子など、私たちに多くのことを語ってくれています。

ここでは、センターが今までに発掘調査した遺跡を時代ごとに紹介しています。又、移り変わる器もご覧下さい。

### イベントファイル

現地説明会情報  
★平成12年2月11日(金) 野津遺跡にて  
たくさんのご参加ありがとうございました。

タイムスリップ探検隊情報  
☆平成10年度タイムスリップ探検隊  
平成12年8月1日(日) 9時より  
可児市 稲田遺跡発掘調査現場にて

発掘速報展情報  
★平成12年2月16日(土)~3月14日(日)  
多数の見学者が訪れました。

岐阜県新発見考古学館速報展情報  
☆平成12年度新発見考古学館速報展  
平成12年7月21日(土)15:00時より  
スライプホール(大垣市)にて

整理所見学情報  
★平成11年5月14日 岐阜市立野田北小学校6年  
★平成11年7月11日 国府町立国府小学校4年

現地説明会や毎年夏に開催されるタイムスリップ探検隊の案内をはじめ、センターが発掘した遺跡の中から選り出された貴重な遺物を展示する発掘速報展など、センターが催す行事の情報を得ることができます。

また、センターを訪れた小学生・中学生の様子も報告しています。是非一度見て積極的にご参加下さい。

センターが発掘調査を終了した遺跡の主な時代・遺物の出土状況等について知ることができます。

所在地別・時代別一覧のどちらからでも遺跡を選択できます。

遺跡の発掘により現れた遺物や遺構は、建物・田畑などのある当時の風景、人々の生活の様子など、私たちに多くのことを語ってくれています。

ここでは、センターが今までに発掘調査した遺跡を時代ごとに紹介しています。又、移り変わる器もご覧下さい。